

# 2009 Japan Band Clinic

Afternoon Concert 5.16 sat 13:00- 大ホール

I



指揮  
松崎 泰賢  
Taiken Matsuzaki

## 演奏 東北福祉大学吹奏楽部

創立33年を迎える我が部は、Heartful Harmony～心いっぱいの音楽～をモットーとし、聴いていただく方の心に響く演奏を目指し日々練習に励んでいます。また今年は、影響力のあるバンドを目指していくという意味を込めて“Promising the wind”という目標のもとに活動しています。日々の活動としては、吹奏楽コンクールへの出場、年4回の演奏会の開催、年間を通じて小・中学校や福祉施設への訪問演奏活動を行っており、たくさんの方に本吹奏楽部の演奏を聴いていただけるよう活動の幅を広げております。この度は、部員一同心待ちにしていた大舞台ですので、みなさんの心に響くような東北福祉大サウンドを届けたいと思います。

1 Skyblue Fanfare

カキザキノゾム /  
柿崎 希夢 作曲

未出版

**NEW** 2 Italian Rhapsody

Julie Giroux 作曲

Musica Propria

3 翼とともに-ファンファーレと序曲-  
To Walk With Wings Fanfare and Overture

Julie Giroux 作曲

Musica Propria

4 「ヘリングの朝」～そして暗闇は光に満ちた

八木澤 教司 作曲

未出版

II



指揮  
ジョン・ボイド  
John Boyd

## 演奏 The Philharmonic Winds, Singapore

「フィルハーモニック」という言葉は音楽の基盤、もしくは音楽への情熱と訳され、フィルハーモニック・ウインズはまさしくその訳通りのグループです。2000年に設立し、現在は70名以上のメンバーがいます。専門学生からプロ、バンド講師まで様々な人の集まりで構成されています。また、幅広いレパートリーを持ち、様々な音楽スタイルに精通しています。これまでに数多くの世界的アーティストやシンガポール国内のアーティストとの共演も数多く行ってきました。またTimothy Reynish、Johan de Meij、John Boydなど国内外の著名な指揮者とも数多く共演。シンガポール国内の作曲家の作品や編曲作品を取り上げたコンサートや吹奏楽作品だけでなく、オペラの伴奏オーケストラとして出演したり、国内の歌手Sebastian TanとTay Keweiをフィーチャーしたポップスコンサートを開催。また、教育プログラムを定期的に行い、音楽教育の普及と吹奏楽作品の啓蒙に務め、国立芸術評議会と共同で「Concert in the Park series」やシンガポール芸術祭での教育プログラムなどにも出演。2005年7月、オランダ・ケルクラードで開催された世界音楽コンテストでシンガポールからの吹奏楽団体として初めて金メダルを受賞(合奏バンド部門)。その受賞後に2006年に開催されたシンガポール芸術祭に吹奏楽団体として初めでの出演となりました。フィルハーモニック・ウインズはシンガポールにおける第一級の吹奏楽団体を目指しています。音楽の持つ新鮮さ、刺激など素晴らしい部分を常に聴衆に伝えていけるよう懸命に努め、これまでの称賛にも甘んじず、音楽全てにおけるプロ意識を高めるために常に前進していきたいと考えています。

1	カテドラル Cathedrals	Kathryn Salfelder 作曲	Boosey & Hawkes
2	我らに日々の糧を与えたまえ(吹奏楽のための小交響曲) Give Us This Day (Short Symphony for Wind Ensemble)	David Maslanka 作曲	Carl Fisher
3	《トッカータ、アダージョとフーガ ハ長調 BWV564》よりフーガ Fugue from Toccata, Adagio and Fugue in C BWV 564	Johann Sebastian Bach 作曲 John P. Paynter 編曲	Ludwig
<b>NEW</b> 4	パイアサの飛翔 Flight of the Piasa	Robert Sheldon 作曲	Alfred
5	《展覧会の絵》より「キエフの大門」 The Great Gate of Kiev from Picture at an Exhibition	Modest Mussorgsky 作曲 John Boyd 編曲	Ludwig